

第7期北方領土隣接地域振興計画 実施計画

市 町 名	根室市
重点施策名	2 新たな観光メニュー創造に向けた基盤整備

1 目指す目標(長期目標)	根室地域の滞在型・周遊型観光の確立及び観光振興による観光客入込数の増
---------------	------------------------------------

2 目標達成に必要な対象群の変化内容		
番号	変化や働きかけを行う対象群	必要な変化(維持する内容)
1	観光協会	観光情報の発信及び受入体制の強化などによる周遊観光及びバードウォッチングをはじめとした体験型観光の更なる推進
2	観光連盟	周辺地域との連携強化による広域・周遊観光の更なる推進
3	道路等交通体系	高規格道路の整備などによる交通アクセスの向上
4		
5		

3 2の変化(維持)を実現するためのプロセス(工程表)				
番号	実施する内容	実施主体	実施期間	実施による到達レベル
1	観光客受入体制の強化のため、観光施設及び観光関連設備を整備	市	H25～	現在補修・改修が必要な観光施設及び設備の整備の完了(平成24年度)
2	食・自然などの観光商品を活用した新たな観光ルートの造成及び観光情報発信の促進	市、 観光協会	H25～	新たな観光ルートの完成及び情報発信の着実な進展(平成24年度)
3	各種媒体・事業による根室地域の観光情報発信の強化と観光事業の推進	市、 観光協会、 漁協	H26～	情報発信の着実な進展と観光客入込数の増(平成24年度)
4	野鳥観光のPR強化、イベントの実施	市、 観光協会	H25～	イベント等への観光客入込数の増(平成24年度)
5	根室地域の観光地間を結ぶ2次交通の充実化	市、 観光協会	H25～	周遊バスの運行拡大(平成24年度)
6	周辺地域と連携し、広域型観光の推進	観光連盟	H26～	広域観光ルートの造成(平成24年度)
7	観光の利便性向上のため、根室地域の高規格道路を整備	国、道	H25～	道路整備区間(距離)の延長(H24年度)
8	根室地域の交通アクセス向上のため、中標津空港を整備	道	H25～	中標津空港の整備の着実な進展(H24年度)
9	根室半島の交通アクセスの向上のため、道道を整備	道	H25～	道路整備区間(距離)の延長(H24年度)

第7期北方領土隣接地域振興計画 実施計画

市 町 名	根室市
重 点 施 策 名	2 新たな観光メニュー創造に向けた基盤整備

1 目標達成に向けた内的外的な課題及び現状認識

内部環境 (市町及び 地域の関係 者の経営資 源)	強み	<ul style="list-style-type: none"> ●強み ・野鳥：日本で見られる野鳥のうち約6割が観察できる「野鳥の楽園」であり、観光商品としてはオンリーワンである。 ・食：三方を海に囲まれた当市は海の幸が豊富であり、季節ごとに様々な魚貝類を楽しむことができる。なかでも、当地域でしか取れない花咲ガニや水揚げ日本一のさんまはイベントも開催されているほど知名度が高い。 ・自然：手つかずの自然があり、中でもラムサール条約登録湿地にも登録されている春国岱は有名であり、多くの観光客が訪れている。 ・北方領土：北方領土返還運動原点の地であり、隣接地域としても全国的に知られている。
	弱み	<ul style="list-style-type: none"> ●弱み 交通アクセス：北海道の東端に位置しており、道内においては、札幌圏からも遠く、高速道路が整備されつつあるが、気軽に訪れるには未だ難しい状況である。道外においては、最寄の中標津空港からも移動時間が1時間半であり、決して近いとはいえない。 温泉：滞在型観光を目指す上で重要である温泉施設がない。
外部環境 (市町を取り 巻く環境)	機会	<ul style="list-style-type: none"> ●機会 北方領土：領土問題に国民の関心は高まっており、北方領土問題についても同様となっており、教育旅行の学習メニューとしても以前より多く取り上げられている。 個人旅行：観光客のニーズも多様化しており、見学・団体ツアーから体験・個人旅行へシフトしてきている。 野鳥観光は少人数で観光する傾向が高いため、ニーズにマッチングしていることから、観光客の入込増が期待される。
	脅威	<ul style="list-style-type: none"> ●脅威 コスト：大都市圏から遠方にあるため、種々の料金設定が他の地域よりも割高となっている。中でも航空賃、鉄道賃などの運賃が高額であり、観光をする上でのネックとなっている。 他の地域：観光客のニーズの変化に他の地域も対応しており、それぞれ個性的で魅力ある観光メニューの造成に取り組んでおり、観光客誘致の競争が激化しつつある。

2 参考とする指標

<ul style="list-style-type: none"> ・観光客年間入込数 平成24年度374,600人⇒平成31年度380,000人 ・観光協会等のホームページ閲覧件数 平成24年度321,000件⇒平成31年度650,000件 ・観光客年間宿泊者数 平成24年度55,500人⇒平成31年度76,000人 ・観光客年間延べ宿泊数 平成24年度78,400泊⇒平成31年度107,000泊 ・観光客入込数のうち宿泊者数割合 平成24年度17.4%⇒平成31年度20% ・イベント入込数：H23年15,600人⇒H31年25,000人(根室さんま祭り) H23年14,100人⇒H31年20,000人(根室かに祭り) ・北海道横断自動車道釧路環状道路＝事業区間17kmのうち供用区間0km(H24年度末) ・北海道横断自動車道根室道路＝事業区間7kmのうち供用区間0km(H24年度末) ・地域高規格道路釧路中標津道路＝計画区間100kmのうち供用区間18km(H24年度末) ・地域高規格道路根室中標津道路＝計画区間40kmのうち 供用区間7.1km(H26年度末) ・中標津空港発着便数 中標津空港⇄羽田空港1日1便 中標津空港⇄新千歳空港1日3便(H24年度末) ・道道根室半島線供用区間46.1km(H24年度末)
--

3 民間が実施主体の場合に市町が行う取組促進の内容

<ul style="list-style-type: none"> ●受け入れ体制強化のためのガイド育成に向けた研修会の開催 ●イベントへの職員派遣(人的支援) ●観光情報の収集及び発信事業等への財政的支援・助成 ●観光客の旅行ニーズの調査・分析
--